**競　技　注　意　事　項**

１．本競技会は2022年度日本陸上競技連盟規則に準じて行うが、小学生については「１回目のフライングで失格」の新規則は適用せず、旧ルール（一人が２回のフライングで失格）を適用する。なお、スタートの合図はイングリッシュコマンドとする。

２．アスリートビブスは胸と背に必ず規定のものを各自で用意し、糸又は安全ピンで取り付ける。

また、トラック競技に出場する選手は、右腰やや後ろ側に各自で用意した腰ナンバー標識を付ける。

３．競技場への入場等について

　　【競技者】**※競技者の入場は７：００からとする。**

　　　競技場内への入場及び退場はすべて動物園側ゲートを使用する。朝の入場は所属団体ごとにコーチ及び

引率者と一緒に入場する。その際、ＨＰからダウンロードした体調管理チェックシート（別様式のもの

でも可）の提出は求めないが、必ず記録して学校・クラブチームの代表（顧問）が集約し、保管するこ

と。

　　【保護者】

　　　競技場への入場及び退場はすべて動物園側ゲートを使用する。入場の際には、観戦者入場票の提出を義務付ける。（大会本部では準備しないので「保護者入場票」を事前にＨＰからダウンロードし、記入して持参することをお勧めします）。観覧席はメインスタンドのみする。

　　【共　通】

　　　・メインスタンドの中央の通路より上段は選手、下段は観戦者を基本とする。

・トイレはスタンド両端に設置されている場所、または２階観客用トイレを使用する。メインスタンド内のトイレは使用できない。また、正面入り口から場内に入場することはできない。（緊急時を除く）

　　【記録等】

　　 記録掲示板を用いての記録等の表示は行わない。各種目の３位までの得点を発表する。それ以外は、アス

リートランキングで確認する。

４．選手の招集について

　　　・招集完了時刻までに競技者係（トラックはスタート地点、フィールドは競技場所）で自分の名前と所属名を知らせ、アスリートビブスを見せる。トラック競技に出場する選手は、右腰やや後ろ側に腰ナンバー標識を付ける。（腰ナンバーは各校・各所属団体で準備すること）

　　・招集開始時間と完了時間、競技開始時刻は以下の通り。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 種　　　目 | 招集開始時刻 | 招集完了時刻 |
|  | トラック　競技 | １５分前 | １０分前 |
|  | フィールド競技 | ３０分前 | ２０分前 |

・事前にHPやアスリートランキングでタイムテーブルを確認して遅れないようにすること。点呼に遅れ

ると失格となるので注意すること。招集が終わったら審判員の指示に従うこと。

５．朝の競技場練習は、７：００～８：３０までとする。なお、競技中は、バックストレートを開放するが

４００ｍの競技中は、競技に支障がないように注意して行う。（この日、野球場で試合があるための措置）

６．テントは、競技場内芝生部分に設営すること。

７．選手の荷物を自分でスタート地点に取りに行く際、ゴール後バックストレート側を通って戻ること。

８．プログラムに記載間違いがあったら本部に早めに申し出ること。

９．レーン、試技順はプログラムの番号順とする。

１０．プログラムは配布しないので、事前に組・レーンを各校・各所属団体で確認しておくこと。

１１．フィールド競技（走高跳、走幅跳、砲丸投）

　（１）三種競技Ａの走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。（天候などの状況によって変更することもある）

　【男子三種競技Ａ：走高跳】

　　練習１ｍ１０　試技１ｍ１５から５ｃｍ上げとする。（１ｍ４０から３ｃｍ上げ）

【女子三種競技Ａ：走高跳】

練習１ｍ００　試技１ｍ０５から５ｃｍ上げとする。（１ｍ３０から３ｃｍ上げ）

　（２）走幅跳、砲丸投の試技は、それぞれ２回ずつとする。※走高跳は、３回とする。

１２．競技に使う用器具は、すべて競技場に備え付けのものを使用する。

１３．新型コロナ感染拡大防止予防について

　　　・大会要項を確認の上、参加願います。

１４．その他

　（１）選手は本部前席前を通らないこと。

　（２）トラックを横断する時は、事故のないよう、十分気を付けること。

　（３）主催者は応急処置のみ行う。

　（４）主催者側で消毒用アルコールを用意するが、参加者自身も持参することを推奨する。

　（５）ゴミ類はすべて持ち帰ること。

　（６）一般の方の駐車場は動物園駐車場を使用する。

※**競技場内の駐車場は札幌陸協登録の競技役員のみとする。**

　※出場時には《【大会前用】体調管理チェックシート》の記録が義務付けられる。事前に札幌陸協のＨＰの

「大会前の体調管理チェックについて」の要領に従って実施して下さい。

　※感染症対策のため、選手、競技役員、引率者等、来場者全員がマスクを着用する。観客席においては十分な間

隔を取って着席すること。大きな声を出しての応援はできない。また、運動時以外はマスクを着用すること。